

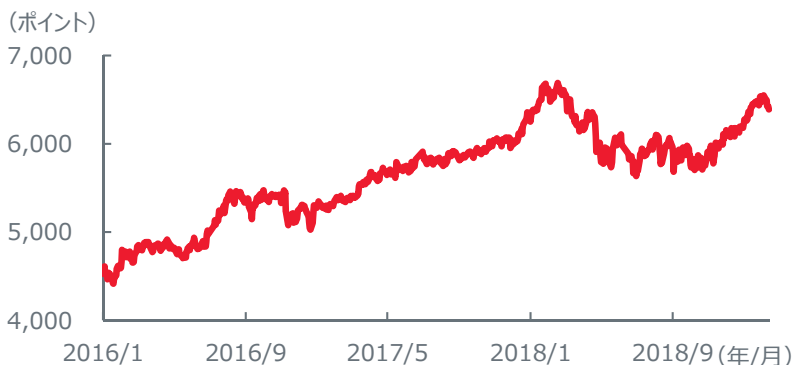
# Indonesia Weekly

2019年2月18日



(対象期間：2019/2/11～2019/2/15)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年2月15日)



## 【株式市場】

新規の手掛かり材料が乏しい中で、海外投資家による利益確定売りが優勢となり、インドネシア株式市場は下落しました。15日に発表された1月の貿易収支は11.6億米ドルの赤字となり、先月に引き続き赤字幅は10億米ドル超となりました。セクター別ではインフラ・公益などが上昇した一方で、建設・不動産などは下落しました。

2019/2/8	2019/2/15	変化率
6,521.66	6,389.09	-2.03%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年2月15日)



## 【債券市場】

週初は、12日の国債入札の前に、米ドル高ルピア安とポジション調整したことからインドネシア10年国債利回りは上昇（価格は下落）でスタートしましたが、好調な入札を受けて一旦買い戻しの動きが見られました。しかし、その後週末にかけて、ルピア安を背景に長期債を中心に海外投資家からの売りが見られ、週間では10年国債利回りは小幅な上昇となりました。

2019/2/8	2019/2/15	変化幅
7.845	8.045	+0.200

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年2月15日)



## 【為替市場】

米政府機関閉鎖や米中通商交渉に関するポジティブな報道を受けた米国株高などを背景に米ドル高が進行し、ルピアは対米ドルで下落しました。15日発表の貿易収支が引き続き大幅な赤字となったことも重石となりました。円が対米ドルで下落したことから、対円では小幅な下落となりました。

2019/2/8	2019/2/15	変化率
0.7858	0.7821	-0.47%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。